広報 しょうぼうさつま 119

vol.19

◎主な内容
・住宅用火災警報器の維持・管理
・防火ポスターコンクール表彰式
・消防団ポンプ操法大会他

管理されてますか？

～住宅用火災警報器～

住宅用火災警報器の維持・管理は大丈夫ですか？

現在、町内の住宅用火災警報器の設置率は９割を超えていますが、せっかく取り付けた警報器も、いざというときに正常に機能しなければ意味がありません。これからは**【日ごろの維持・管理が大切】**になってきます。

もしも火災が発生した場合に、正常に住宅用火災警報器が作動するよう、日ごろから点検とお手入れ（掃除）をし、もし電池切れなどの場合は機器の交換をしておきましょう。

✔定期的な点検を

警報器が正常に作動するか、定期的にテストボタンを押す、またはひもを引いて正常に機能するか点検を実施しましょう。

また、次のようなときは必ず作動テストをしてください。

- ●警報機を初めて取り付けたとき
- ●手入れをしたあと
- ●設置場所を変えたとき
- ●長い間留守にしたあと
- ●故障、電池切れが疑われるとき

※点検の流れ※

ヒモを引く・ボタンを押す
→「ピーピー」（警報音）「火事です」（音声）
→正常
→警報音・音声なし
→電池切れ 故障の可能性

※機種ごとの詳しい点検方法は、取扱説明書を確認してください。

✔電池切れに注意

電池寿命はメーカー、機種によって異なりますが、最新機種の多くは、通常の使用状態で約10年です。

また、警報器自体も、センサー等の寿命により交換が必要になる場合がありますので、約10年を目安に警報器自体を交換してください。

✔電池切れお知らせ機能

住宅用火災警報器には、「電池切れ・故障」のお知らせ機能がついているものもあります。

主なメーカーの機能

◆電池切れの場合

- ●**ブザー式**～「ピッ」（30秒間隔鳴り続ける）
- ●**音声式**～「ピッ電池切れです」（1時間間隔で鳴り続ける）

◆故障の場合

- ●**ブザー式**～「ピッピッピッ」（8秒間隔で鳴り続ける）
- ●**音声式**～「ピッ故障です」（1時間間隔で鳴り続ける）

※機種ごとの詳しい機能については、取扱説明書を確認してください。

✔定期的なお手入れ

警報器はホコリなどが付くと煙や熱を感知しにくくなりますので、定期的にホコリを取り、布等で乾拭きをしてください。

台所にも設置してある場合は、油などの汚れが付きますので、中性洗剤を浸して十分に絞った布でふき取ってください。（水気に注意してください）また、次の点にご注意ください。

- ●有機溶剤（ベンジン・シンナーなど）を使用しない。
- ●水洗いはしない。
- ●煙流入口をふさいだり、傷つけない。
- ●確実に取り付け、作動テストを実施する。

✔調査にご協力を

消防署では、設置率１００％を目指して、各ご家庭を戸別訪問して設置の促進及び設置状況調査を実施することがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

防火ポスターコンクール入賞作品決定！！

優秀賞の甫立さんの作品

町内の小・中学校から併せて78点の応募があり、厳正な審査の結果、最優秀賞に求名小学校４年生の坂元宥哉くんの作品（※表紙掲載）が決定しました。

そのほかの入賞者は次のとおりです。皆さんおめでとうございました！

優秀賞
甫立　愛歩（宮之城中１年）

防火賞
宮脇　呼春（中津川小１年）
竪山　理紗（薩摩中３年）

入選
今西　海月（柊野小２年）
下木場　心琴（山崎小２年）
宮之脇　麗愛（紫尾小３年）
小原　光莉（流水小４年）
得永　美潤（流水小５年）
大野　詩音（柊野小６年）

消防長賞
平島　萌衣（鶴田小４年）

※学校・学年は表彰当時のものです。

火災調査ファイル Vol.1

コンセントとほこりの危険な関係
～トラッキング現象～

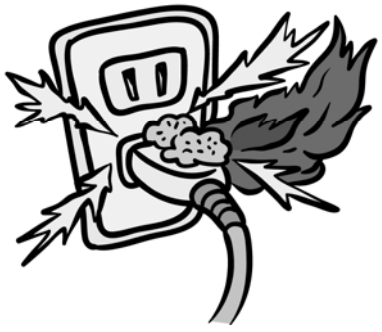
家電製品などの電源プラグをコンセントやテーブルタップに長期間差し込んでいると、コンセントとプラグとのすき間に徐々に『**ほこり**』がたまっていきます。このほこりが湿気を含むと、プラグの電極間で火花放電が起こり、発火に至ることがあります。これを『**トラッキング現象**』といいます。特に、水滴がかかりやすい場所（洗面台や台所等）や、ほこりが溜まり易いところ（清掃が困難な家具の裏）のコンセントは要注意です。

トラッキング現象の怖いところは、家に人がいるいないに関わらず出火するところで、特に不在の場合は、発見が遅れてそのまま火災に至ってしまう場合がほとんどです。

トラッキング現象を避けるには普段の手入れが大切ですので、次の点に注意しましょう。

①テレビや洗濯機など常時通電している機器は、ときどき電源プラグを抜いて乾燥した布で拭き取りましょう。
②機器の使用後はスイッチを切って、コンセントから電源プラグを抜いておきましょう。
③長期間外出するような時は電源コンセントを抜いておく習慣を付けましょう。

ほこりを溜めたままでいると
発熱し発火する場合があります。



放水始め！

ポンプ操法大会に向けて

今年7月13日（日）に薩摩総合運動公園駐車場で開催される、第44回薩摩支部消防操法大会に、さつま町消防団からポンプ車の部に4分団、小型ポンプの部に3分団が出場します。

出場団員たちは仕事の合間をぬって連日訓練に打ち込んでいます。

出場分団は下記のとおりですので、地域の皆さんのご声援をよろしくお願いします。

ポンプ車の部
- 川原分団
- 平川分団
- 紫尾分団
- 柏原分団

小型ポンプの部
- 山崎分団
- 神子分団
- 永野分団

消防団幹部異動

退団等に伴い、新任された新分団長を紹介します。

新 時吉分団長　東　義弘
新 一ツ木分団長　一ツ木　了
新 柏原分団長　瀬戸口　和徳

シリーズ　わがまちの消防団　～最終回～

水難救助隊

隊長　手塚　良平　以下１１名

私たち水難救助隊は、昭和44年に旧宮之城町消防団水難救助隊として、川内川での水難事故に備えるため発足いたしました。消防団の水難救助隊は全国的にも珍しく、現在は、川内川に接する地域の分団より選任された11名の潜水士で活動しております。

川内川は、視界が悪く、流れの速い場所や、大きな岩がゴツゴツした地形、さらに水深が深いところでは10m以上もあります。日頃から、水難事故のないことを願いつつ、素潜り訓練や空気ボンベを背負っての水中検索訓練を行っております。

気　管挿管救命士に認定

町野栄光消防士長が病院手術室での厳しい実習を終え、当消防本部11人目の気管挿管（口から気管へチューブを挿入する高度救命処置）ができる救急救命士に認定されました。

広　報車を更新

老朽化に伴い（17年経過）このほど更新し、立ち入り検査等に活用しています。

消太くんの消防一口メモ

「救急車を呼んだのに消防車も」どうして！？

さつま町消防本部では、傷病者への適切な救急活動を行うため、救急隊だけでは対応が困難な場合に、消防隊等による救急隊への支援活動を行っています。

◆消防車が来るのはこんな時

- 傷病者が重症であり、救急隊の活動を補助する必要がある場合
- 救急車の停車位置が現場から遠く、傷病者の担架搬送が長距離におよぶ場合
- 交通量の激しい場所等で、救急隊員の活動に二次災害のおそれがある場合
- ドクターヘリを運用する場合
- その他現場に多数の人員を必要とする場合など

救急現場への消防車の出動は、災害の大小ではなく、傷病者のために最善を尽くすためのシステムですので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新人消防士 奮闘中！

消防人としての第一歩を踏み出した新人消防士の３人です。現在、鹿児島県消防学校において消防士としての基礎を猛勉強中です。９月の卒業後は町民の皆さまの安全・安心のために全力を尽くす覚悟です。どうぞよろしくお願いいたします。

※年齢は採用当時

富森（とみもり） 詳平（しょうへい）です

自分が暮らしてきた町のために力になりたいとの思いで消防士を目指し、その目標を叶えることができました。

これから消防職員としての知識、技術をしっかり習得し、１日でも早く精神的にも肉体的にも１人前となり、さつま町民の生命、財産を守っていけるよう日々精進していきます。

さつま町中津川出身（22歳）

真邉（まなべ） 航太（こうた）です

消防職員という小さい頃からの夢を叶えることができ、うれしい気持ちでいっぱいです。

鹿児島市出身で、さつま町のことは地理地名などまだまだわからないことの方が多いですが、１日でも早く住民の方々に信頼されるような消防職員を目指し、日々精進していきたいです。

鹿児島市出身（19歳）

汐満（しおみつ） 圭介（けいすけ）です

さつま町の消防職員として採用していただき、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

今はまだ消防士としての知識も技術も体力もないですが、さつま町の方々が安全に、そして安心して笑顔で暮らせるように、日頃の訓練に精一杯取り組んでいきたいです。

さつま町湯田出身（18歳）

ブリーチング訓練を実施

この程、一部取り壊される消防庁舎を使ってブリーチング訓練を実施しました。

訓練では、まず三角形にマーキング（最も効率よく開口部を設けられる形）し、エンジンカッターで切れ込みを入れた後、削岩機やハンマー、つるはし等でコンクリートを破壊して人や担架が通過できる開口部を設けるまでの一連の活動を実施しました。

参加した隊員は、多量の粉塵や予想以上に固いコンクリートに苦労しつつ、訓練に挑みました。

ブリーチングとは？

「ブリーチング」とは、震災現場などで、建物の倒壊により生き埋めになった人を探し出し、救出するための開口部を作成する手法です。

助けを求める人が近くにいる場合に、コンクリート片等の落下物を最小限にする「クリーンブリーチング」、また対照的に開口部の近くに人がいない場合に、できる限り早く開口部を設定する「ダーティーブリーチング」の２種類があります。

消防ほっと写真館

さつまるちゃんといっしょに火災予防を呼びかけました。
【防火パレード】

恵光保育園幼年消防クラブ隊員がお遊戯で防火に一役
【JA 農業祭】

かぐや姫の井手原円香さんが消防署長として防火を PR
【一日消防署長】

勤労感謝の日訪問で防火風船をもらって大満足
【佐志保育園】

勤労感謝の日訪問で手作りのプレゼントを手渡しました。
【信教寺保育園】

太陽保育園の園長先生の作品。ダンボールとは思えません！
【手作りの救急車】